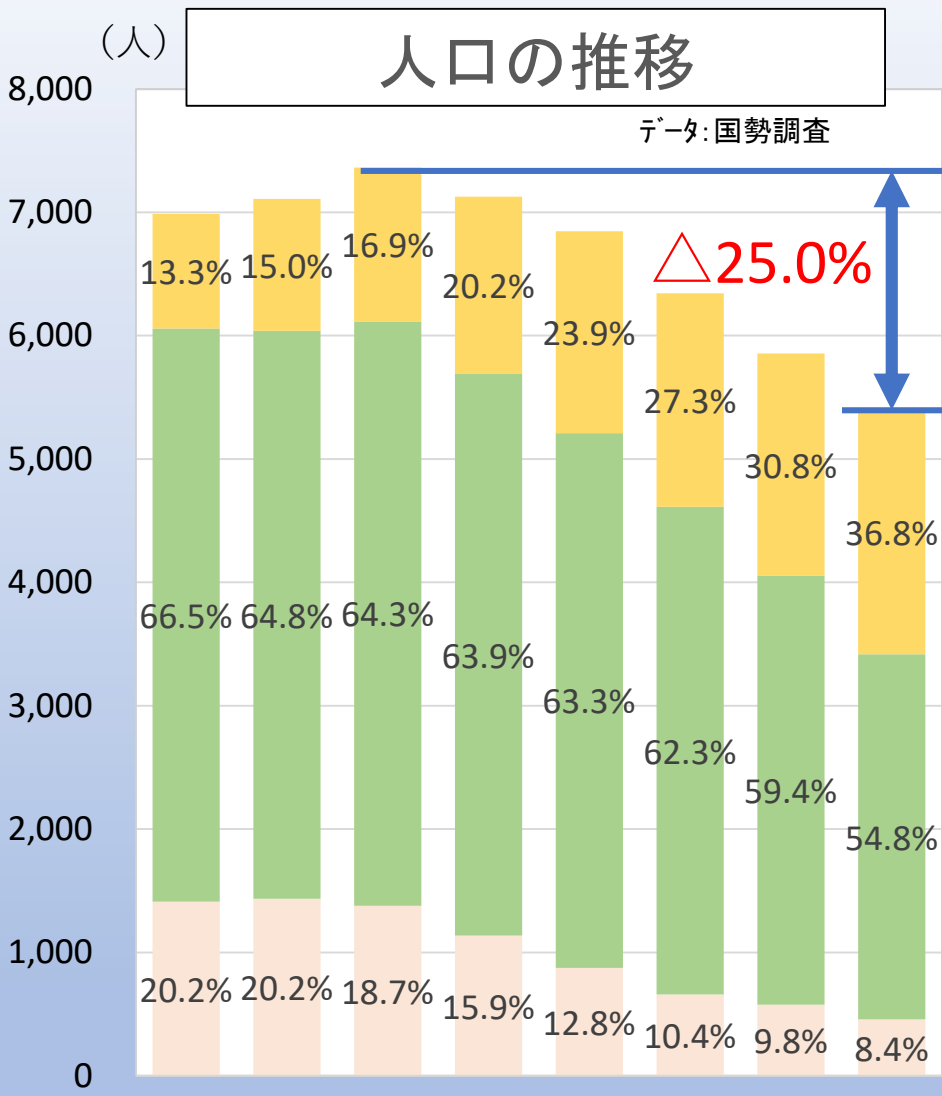


**第2回地域フォーラム**  
**明日香村発展ビジョン**  
**～観光を基軸とした村づくり、**  
**そして世界遺産登録へ～**

令和元年8月3日

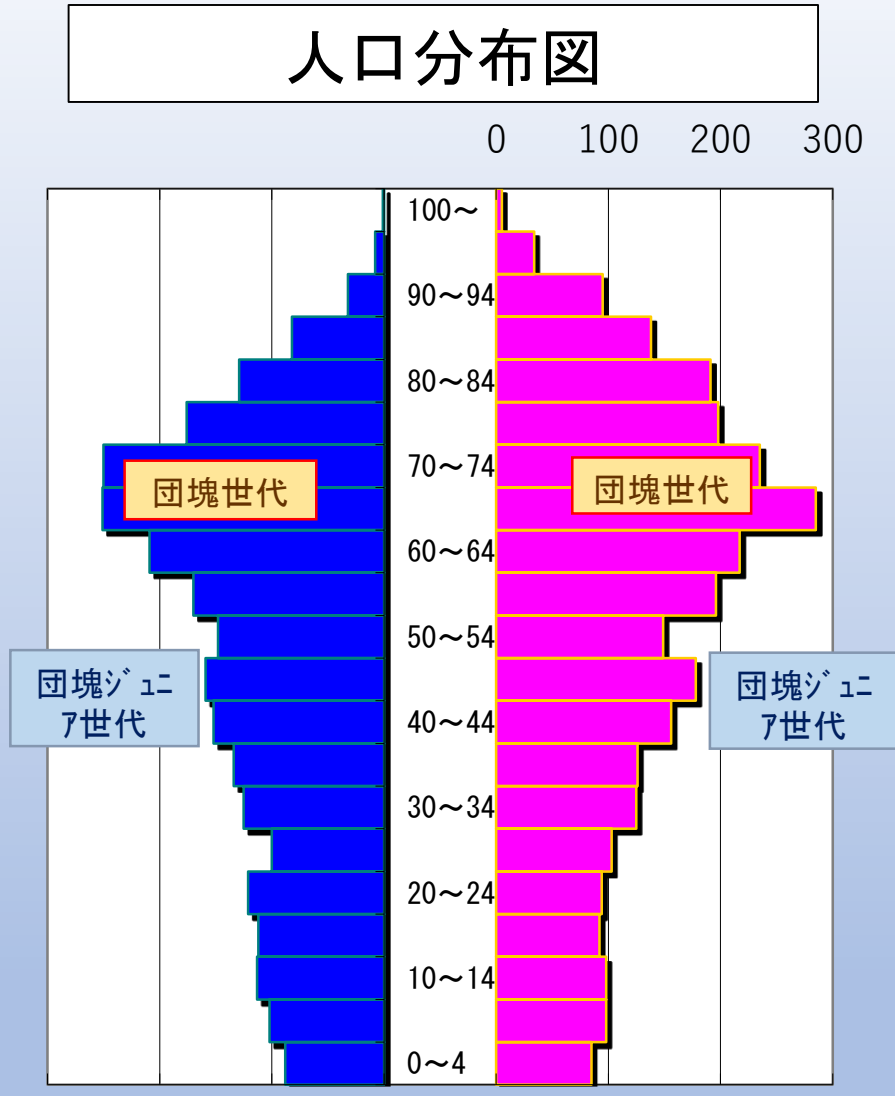


明日香村長 森川 裕一



S55 S60 H2 H7 H12 H17 H22 H27

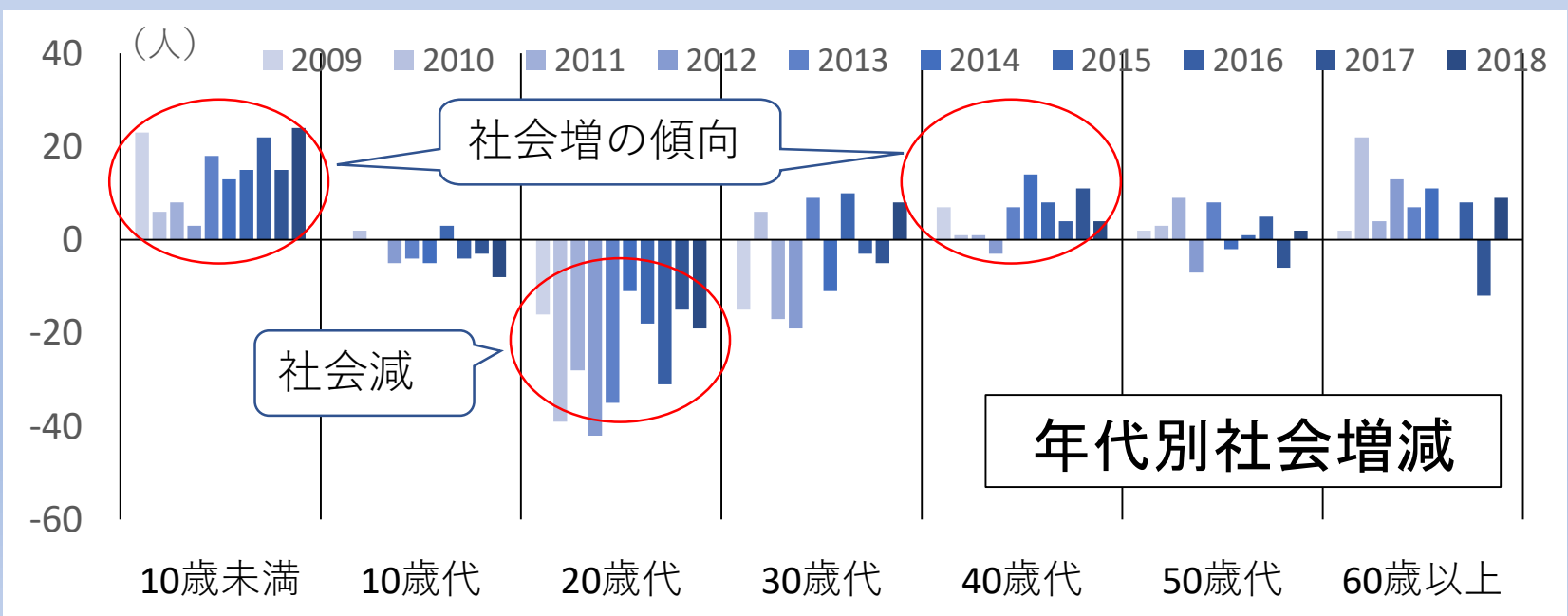
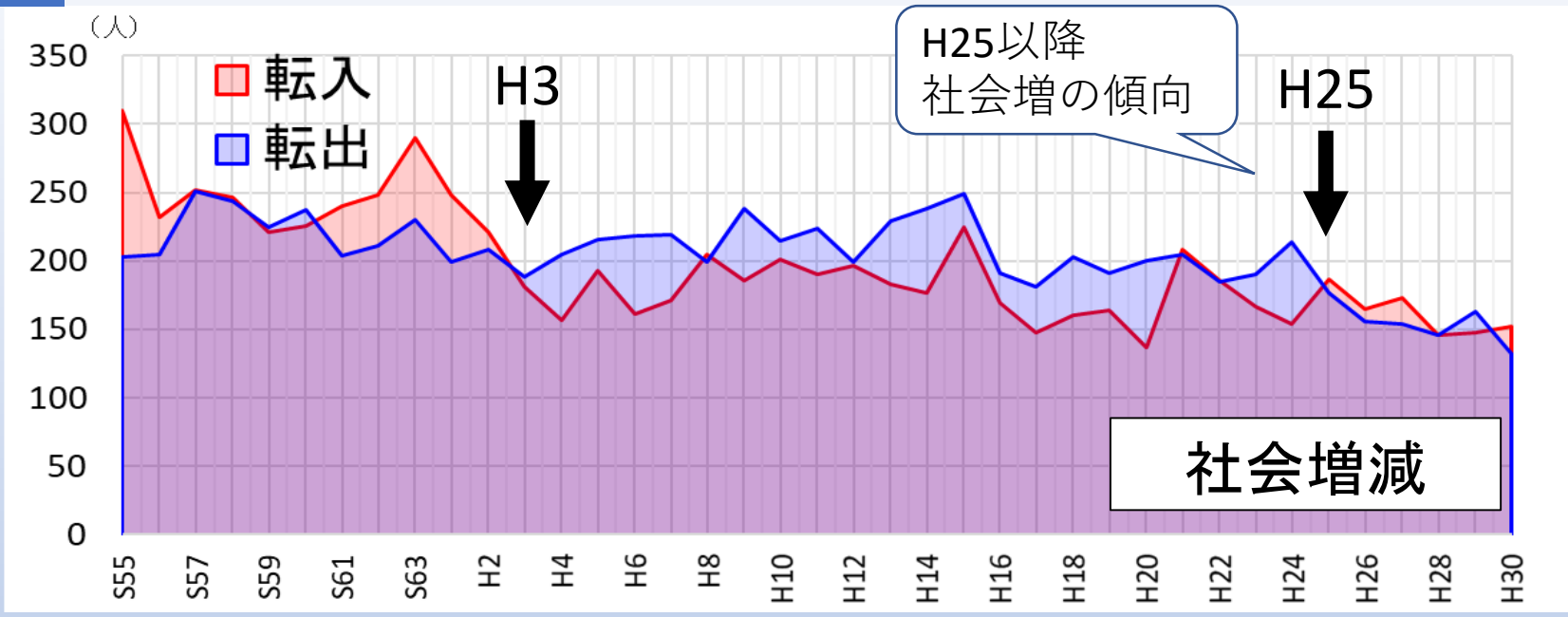
- 年少人口 (0~14歳)
- 生産年齢人口 (15~64歳)
- 老年人口 (65歳以上)



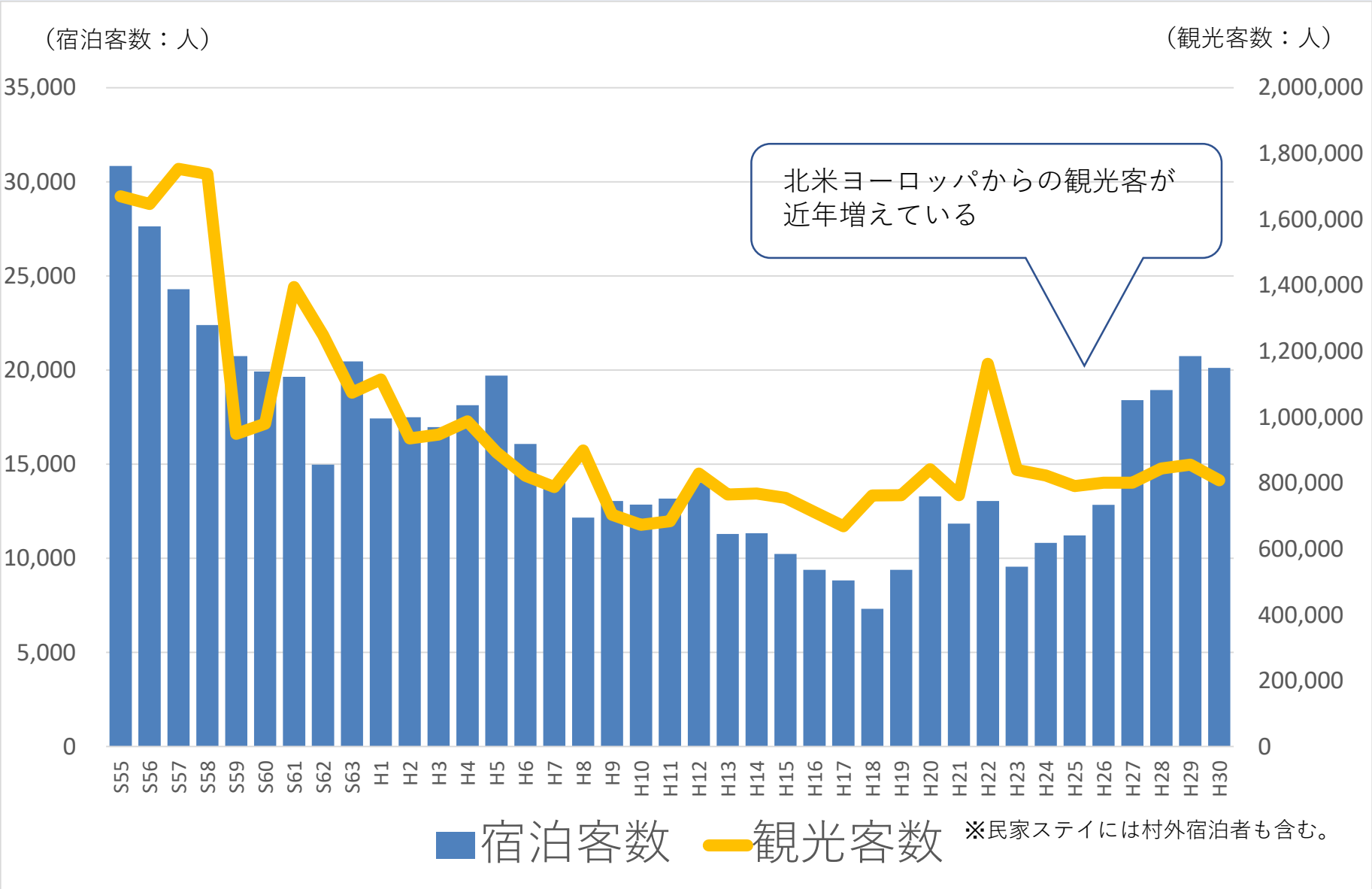
300 200 100 0

データ: 平成30年4月住民基本台帳及び外国人登録人口に基づく人口

# 村の現状



# 観光客数・宿泊者数推移



# 目指す姿

## 明日香村の価値

日本の国のはじまりの地を示す歴史的文化的資源

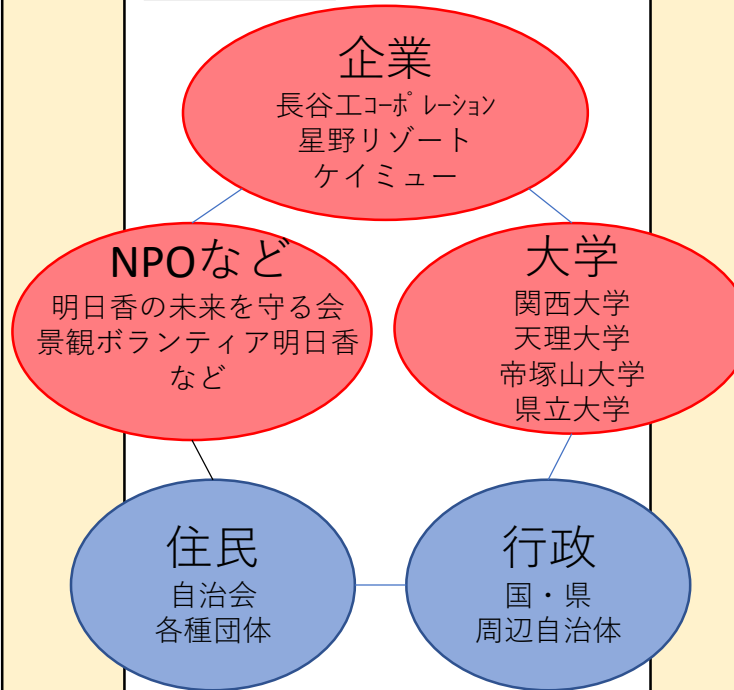
明日香法により守られた歴史的風土

代々引き継がれる文化的景観、伝統的行事

利便性の良い環境ながら地域住民が互いに助け合い顔の見える環境

## 協働による村づくり

明日香村の価値を最大限に活用し、



みんなで地域課題を克服

## 今後の方向性

村民が健康に暮らし、次代を担う子どもたちが育つ村

全村まるごとを活用した活力ある村

明日香らしい佇まいを感じられる村

# 価値ある文化財の「見える化」

キトラ古墳「四神の館」  
(H28～)



バーチャル飛鳥京  
(H17～)



高松塚古墳壁画保存  
公開施設整備要望



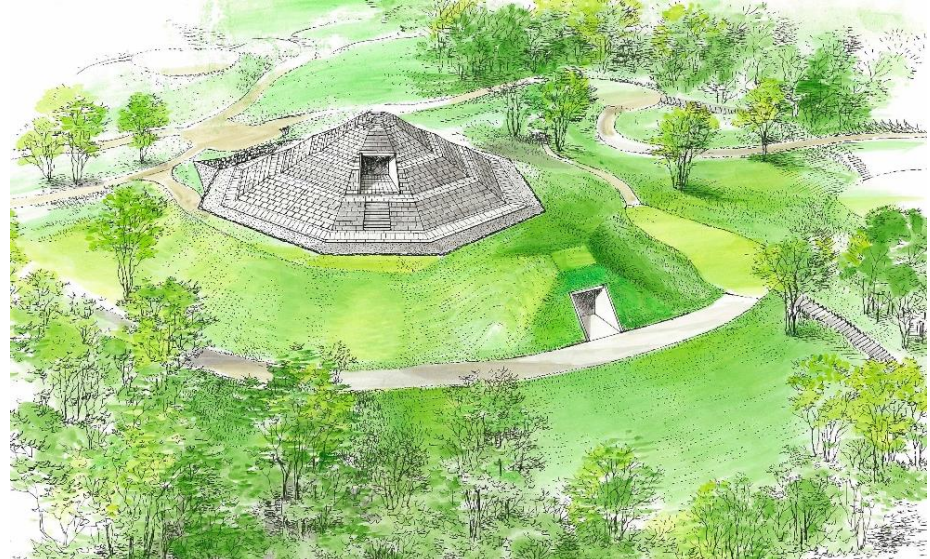
さらなる  
取組



飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池整備要望



牽牛子塚古墳整備



(2020年度<令和2年度>完成予定)

# 宿泊できる環境づくり

民家ステイ(H23～)

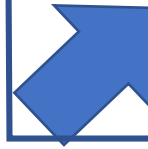


ゲストハウス(H27～)



## 宿泊施設（星野リゾート）誘致

誘致位置図



さらなる  
取組 (約4年後の開館を想定)

民宿



祝戸荘



# 歴史的風土を感じてもらえる仕掛け

光の回廊(H16～)



彼岸花祭り(H8～)



(仮称) 明日香ハーフ  
マラソンの開催

さらなる  
取組



(2020年度<令和2年度>予定)

古都飛鳥文化祭(H27～)





# 情報発信・移動手段の充実

道の駅「飛鳥」(H30～)



MICHIMO(H26～)



アスカナビ(H24～)



新たな技術を活用  
した観光周遊の取  
り組みをモデル的  
に進める

さらなる  
取組

赤かめ周遊バス(H15～) 金かめ乗合タクシー(H28～)



# 世界に向けた発信と魅力を高める

日本遺産(H27～)

日本国創成のとき  
～飛鳥を翔た女性たち～  
日本遺産 第1号に認定

飛鳥には、  
日本国創成の数々のドラマがあった。

いまから約1400年前の7世紀、  
激動する世界の中で、「日本国」が誕生した。  
そこには女性たちの熱き想いが込められていたのである。

仏教伝来  
我が国に初の仏教が誕生  
推らかゆやし系女史  
善信尼

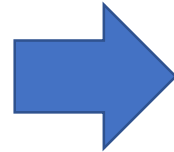
藤原京  
日本の都の中心地  
先達み鋭い系女史  
持統女帝

美しい自然  
政治改革のけしき  
仕事も密もモチ系女史  
額田王

大化の改新  
物怖じしない系女史  
斉明(皇極)女帝

日本遺産「飛鳥」公式サイト  
<http://asuka-japan-heritage.jp/>

さらなる  
取組



世界遺産登録を目指す

「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」

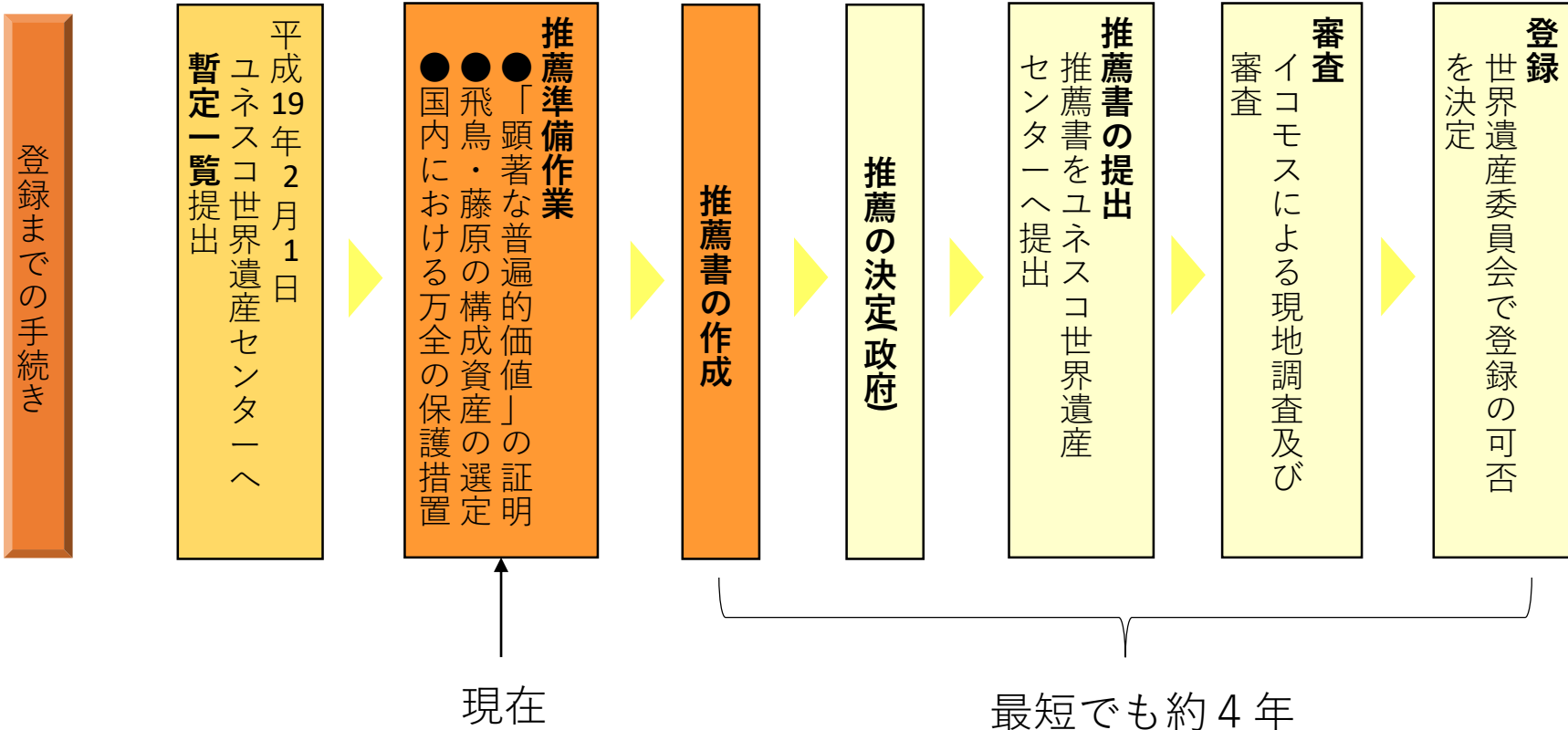
「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産候補とその位置

※地図は、奈良文化財研究所作成のものを使

敏傍山(大和三山) 本薬師寺跡 耳成山(大和三山) 藤原宮跡  
 藤原京朱雀大路跡 春日山(大和三山) 大宮大寺跡  
 山田寺跡 水落遺跡 飛鳥寺跡 酒船石遺跡 飛鳥京跡苑池 伝飛鳥板蓋宮跡  
 葛瀬池古墳 樟隈寺跡 高松塚古墳 川原寺跡  
 牽牛子塚古墳 中尾山古墳 キトラ古墳 橋寺 石舞台古墳



# 登録までの手続きと資産の概要



- 資産の概要
- ・ 「日本国」の形成から成立までの過程を証明できる、6世紀末から8世紀初めまでの日本の首都
  - ・ 構成資産には、隋・唐や高句麗・百濟・新羅との強い交流の中で、先進の政治・宗教・文化・技術を導入し、伝統的な政治・宗教・文化・技術と融合・発展させて、我が国独自の政治制度や文化を作り上げた記憶が顕著に刻まれている。
  - ・ 遺跡は、現在も良好な遺構として存在
  - ・ 歴史・文化の舞台となった歴史的な風土が、長い時を超えて現在でも目の当たりにすることができる

**ご清聴ありがとうございました。**